

小学校受験対策に つながる 親子遊びベスト30！



レポートに掲載され内容を許可なく転載・公開することを禁じます。

●はじめに

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意いただきご利用ください。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

●ごあいさつ

こんにちは！あやです。

この度はレポートを開いていただき、ありがとうございます。
私は主にTwitterやYouTube、無料メールマガジンで小学校受験の情報を発信しています。

今回お届けするのは
『小学校受験対策につながる、親子遊びベスト30！』
です。

先日こんなご質問をいただきました。

「志望校へ合格するまでに背の高さほどのプリント学習をしないといけないって本当ですか？」

さてこの質問。
あなただったらなんて答えます？

ちなみに私の回答は...

「小学校受験で大切なのは遊びです。受験対策＝プリントのように思われがちですが、プリントは経験値を測るための確認ツールに過ぎません」

意外ですかね？
でも小学校受験で問われているのは点数ではありません。

プリントの上位から合格者が決まる試験であれば、どんどん学習量をこなしていけばいいだけの話なので、ある意味楽です。

しかし小学校受験の合否はそう単純じゃないんですよ。

合格のポイントはズバリ内面・本質から垣間見られる将来性です（国立小の場合。私立小のお好みのものはまた別の話）。

だからこそ、プリント至上主義的な対策では合格に辿り着くのは難しく
中学以降の受験とはまた別の対策が必要になってきます。

その小学校受験対策の肝となるのが、今回ご紹介する【遊び】です。

遊びと成績。

一見矛盾しているようですが、相関関係があることがベネッセ教育総合
研究所の調査でわかっています。

調査結果を端的にまとめると次のような傾向が見えてきました。

園生活の中で

- 「自由に好きな遊びをする」
- 「好きなことや得意なことをいかして遊ぶ」
- 「遊びに自分なりの工夫を加える」
- 「挑戦的な活動に取り組む」
- 「先生に頼らずに製作する」
- 「見通しをもって、遊びをやり遂げる」

という経験をしてきた子は、そうでない子に比べて学習意欲が高いこと
がわかったそうです。

そこで今回のレポートでは、家庭で子どもと一緒に（小学校受験対策を
意識しながら）遊ぶ方法を30個をご紹介します。

ほとんどのものが特別な道具を必要としない、思い立ったらすぐに取り
組んでもらえる内容です。

充実した親子時間のために活用いただけたら幸いです。

●目次

折り紙を使った遊び

チェーンリングやクリップを使った遊び

輪ゴムを使った遊び

毛糸を使った遊び

積み木やブロックを使った遊び

紙コップを使った遊び

言葉遊び

洗濯バサミを使った遊び

COLUMN

Chapter 1

折り紙を使った遊び



幼児から大人まで、日本人のほとんどが触ったことがある折り紙。
そんな折り紙の使い方は折るだけだと思いませんか。

いいえ、そんなことはありません。

折り紙は折る以外にも書く、切るなど様々な使い方ができる万能知育アイテムです。

このChapter1では、折り紙を使った遊びを4つご紹介します。

1 ちぎって切って、紙吹雪

ちぎりは小学校受験の制作課題で頻出領域です。
お受験の世界では線に沿ってちぎる、形に沿ってちぎることを早く正確にすることが求められます。

ちぎりは指先に適正な力を入れ必要があるため、年中さん以下のお子様にとっては実はとても難しい課題。

だからこそ普段の遊びの一環として取り入れ、早さ・正確さの前にまず楽しむところから始めましょう。

折り紙を大きさなどを気にせず思いのままにちぎって、ちぎって、ちぎりまくって...の後は、思い切ってお部屋にばら撒いてもいいですね。

大人はつい「そんなことしたら片付けが...」 ち思うかもしれませんが、それも

(片付けもちりとりとほうきを使うチャンス到来!!!)

と捉えられると素敵です。

子どもでも簡単に扱えるミニちりとりとミニほうきは100均でも購入可能です。



ちぎる機会を意識的に増やすことで巧緻性（手先の器用さ）アップ効果も期待できます。

また年中さん以下のお子様は、ちぎりが難しいようであれば無理にチャレンジする必要はありません。

その場合はハサミの練習として、切ることを楽しみましょう。

いずれにせよ最後はちゃんと自分で後片付けすることで、掃除・整理整頓を習慣付けることができます。

COLUMN：片付けの習慣がつくメリット

美しい暮らしの空間プロデューサーの安東英子さんがインタビュー記事で解説していた片づけが子どもにもたらす5つのメリットをご紹介します。

①段取りが上手になる

自分の物を整理整頓するには、何から順に片づけていけばいいのかを考えるようになるので、物事の段取りを自分で考えられるようになる。

②余計な物を欲しがらなくなる

自分が何を持っているかを把握しているので、必要以上に物を欲しがらなくなる。

また、欲しい場合は計画的に考えるようになる。

③物を大切にできるようになる

自分で自分の物を管理するとその物に愛着がわくので、丁寧に扱うようになるほか、すぐに飽きてほかの物を欲しくなったりしなくなる。

④自主性のある子になる

私物の管理を任せることで責任感がつき、自ら片づけを行うように。また、その達成感が次の意欲につながっていく。

⑤集中力が身につく

整理整頓は「どこに何を、どのように置くか」を考えるため、集中して頭を使う。

また、物の大きさを捉えることが空間把握の訓練にもなる。

遊びと後片付けをセットで行うことでお子様の生活スキルはどんどんUPしていきます。

自分でやっちゃった方が早いというお気持ちもわかりますが、時間がある時にはお子様と一緒に楽しく遊び、その後のお片付けは任せてみてはいかがでしょうか。

2 ちぎって、切って、貼って世界でたった1つのアート作品を作ろう（年中以下はハサミの練習として切ってみるのもOK）



折り紙をちぎって貼るだけのシンプルな工作もお子様の興味関心や想像力が垣間見られる楽しい親子遊びです。

その例をいくつかご紹介します。

- ①白い折り紙で雪景色や雪だるまなど季節のアート作品を作る
- ②赤や黄色の折り紙で紅葉を表現。木工ボンドでどんぐりなどを貼り付けて立体的に表現に挑戦するのも楽しい
- ③画用紙に直径5cm程度の円を描く。その上に折り紙を三角にちぎった帽子を帽子を円の上に貼り、オリジナルキャラクター作り
- ④折り紙を四角形にちぎって人間の身体や洋服をデザインしてみよう

など、折り紙の使い方は無限大です。

うちの子まだ折り紙を折るのは難しいから...という年齢のお子様でも工夫次第で楽しむ方法はたくさんあることが伝わったでしょうか。

COLUMN：ちぎりの入口はりんごの皮むき競争から

ちぎりは小学校受験において大切な要素ですが、指先にしっかりと力を入れることができるようになる前に取り組むと、できない→つまらない→やりたくないという負のループに陥りがちです。

なので、ちぎりの入口はとにかく楽しく！が基本。

理想はこれまで紹介した制作遊びを通してからですが、そんな時間が取れない時は、ゲームに仕立てましょう。

お勧めは、りんごの皮むきのように折り紙を外側からちぎってできるだけ長く繋げられた方が勝ちという競争ゲームです。

お子様の性格に応じて、最初は親が手加減して勝たせてあげるなどの調整は適宜してあげてくださいね。

3 ちぎって輪をたくさん繋げて蛇作り

- ①折り紙を複数枚用意します。
- ②折り紙の二つ折りを2回繰り返して、4分割できるように折り目をつける
- ③折り目に沿って折り紙をちぎって1枚の折り紙を4本に分ける
- ④分けた折り紙の両端にのりを塗り、輪になるように止める
- ⑤これを繰り返して好きな長さまで続ける

年少のお子様の場合は、ちぎりではなくてハサミの練習にもなります。

ただ切るという作業だけよりもノリを使って輪を作るという指示も加わるため、最初は次に何をしたらいいのかわからなくなってしまうかもしれません。

その際は「もう1回教えてあげるからよく聞いていてね」と伝えた上で、再度やることを伝えてあげましょう。

あくまで楽しく。

「もっとやりたい」と思ってもらうことが狙いです。

年中のお子様であれば、赤、青、緑の順に輪を繋げよう！などの条件を1つ追加してもいいですね。

提示されたルールを守る力は小学校受験のみならず、その後の学校生活においても必要となります。

人の話を聞く、指定されたルールを守る。

社会生活に必要な知識もこうして遊びを通して身に付けることが可能です。

年長のお子様の場合、スピードも意識してみるといいですね。
まず親が作り方の手順を見せながらお手本を作り、お子様がその手順・お手本通りに制限時間内（5分程度）で作れるかをチェックします。

集中力、思考力育成に繋がる遊びです。

COLUMN：折り紙で作った輪を使って紐結びにも挑戦してみよう

小学校受験を志す場合、避けて通れないのが「結び」です。

片結び、蝶結び、空中蝶結び、縄結びの4つをマスターする必要があります。

結びを学ぶ方法はいくつかありますが、これも遊びを通して取り組むことができます。

今回ご紹介した輪、3つ～5つをのりで繋ぎ、両端を紐で結んでネックレスやメダル作りなど親の工夫でいくらでも発展させることができるので、ぜひご家庭ならではのアレンジを楽しんでくださいね。

4 ちぎって輪飾りを作ってお部屋を可愛くデコレーション



折り紙で作った輪をたくさん繋げれば、あっという間にお誕生日や季節の行事のデコレーションの完成です！

より華やかにするために役立つのが、花紙を使ったお花作り。

100円ショップで様々なバージョンが売られているので、輪飾りと組み合わせるのもお勧めです。

年少さんだったら、開く手前まで折られているものを使うといいですね。

ただそれでも、力まかせにすると破れてしまうことがあり加減が難しいアイテムです。

失敗することが当たり前だと捉え、大らかに構えましょう。

年中さん以降は花紙を5枚重ねて蛇腹（じゃばら）折りするところから。

蛇腹折りという言葉は、口頭で説明するよりも実際に手を動かしながらの方がイメージもしやすく、はるかに覚えやすいです。

このように、工作中も親子で話しながら作業することで、語彙獲得機会を作ることができます。

Chapter 2

チェーンリングやクリップを使った遊び



100円ショップで気軽に買えるチェーンリングやクリップ。

細い、小さいアイテムなので、年少さんは焦って取り組む必要はありません。

指先に適正な力を加えて使えるようになる年中さん以降は、巧緻性対策のみならず、処理能力アップ効果も狙って積極的に取り入れたいアイテムです。

5 早繋ぎ競争

ルールはとってもシンプル。

- ・ 30秒間でどっちが長くチェーンを繋げられるかな？
- ・ 1分間で一番たくさんクリップを繋げられるのは誰かな？

設定時間内は集中するトレーニングにもなります。

小学校受験のペーパーテストでは、「はじめ」の合図から「やめ」までの間集中する力がとても大切です。

また合図に合わせて瞬時に始めるモード、止めるモードと自分の中のスイッチを切り替える必要も出てきます。

このような競争遊びをすることでメリハリを意識する習慣を作っていきます。

6 時間制限内でいくつ繋がられるかな？

- ・30秒間でチェーンリングを何個繋がられるかな？
- ・1分間でクリップを何個繋がらえるかな？

競争遊びの別パターンです。

今回はチェーンリングやクリップを例に出しましたが、年少さんより下のお子様は洗濯バサミ繋ぎもおすすめです。

洗濯バサミは指先にぎゅっと力を込められるようにならないと、うっかり自分の指を挟んでしまうこともあり、幼児には扱いが難しいアイテムです。

しかし手先の巧緻性を養うという意味では、簡単に安価で手に入り、しかも日常生活に役立つとても優秀な知育玩具です。上手に取り入れてお子様の指先（それに通じる脳）を育てていきましょう。

7 お手本と同じ並びで繋がてみよう

親がお手本を作ってそれを10秒間見せて一度隠します。
さあ同じ10秒間でお手本と同じ並びで繋がられるかな？

小学校受験では「位置の記憶」「お話の記憶」「絵の記憶」等、記憶に関する問題も出題されます。

ここで問われているのは、単に見たままを暗記する力ではありません。

全体を俯瞰して見る力、空間認識力、判断力、想像力といったいくつかの力が必要となる、高得点を得るのは難しい高度な内容です。

それぞれ教材も各社より販売されていますが、まずは日常的な遊びを通して記憶力アップに必要な力を鍛えていきましょう。

ここではチェーンリングやクリップを例にしましたが、もちろん他のものでアレンジしてもらっても大丈夫です。

Chapter 3

輪ゴムを使った遊び



日常の中で使用する頻度の高い輪ゴム。飛ばす、弾く、繋げる、など遊びの用途はたくさん。ここでは小学校受験で必須項目である巧緻性を高める遊びを2つご紹介します。

8 輪繋ぎ競争

輪ゴム繋ぎは小学校受験における巧緻性アップ対策に有効で、多くの幼児教室でも採用されている遊びです。

理由は指先の細やかな動きが必要とされること、一方の輪ゴムを潜らせるという複雑な過程を覚えることが脳の成長に良い効果をもたらすから。

制限時間内でいくつ繋げられるかな？

カラフルな輪ゴムを使ってお手本の並び通りに作れるかな？

など、チェーンリングやクリップと同様の遊び方で楽しむこともできます。

年中さんぐらいから遊べるので、定期的に取り組んでいきましょう。

9 輪ゴム飛び、輪ゴム潜り

輪繋ぎも慣れてくると、100個、200個と繋げていくことが苦ではなくなります。

せっかく繋げた輪ゴム、何かに使えないかな？と思った時にすぐできるのが、輪ゴム飛びと輪ゴム潜りです。

輪ゴム紐の両端を親が持ち、子供が簡単に飛べる地面スレスレから始めてどの高さまで飛べるのか挑戦して見ましょう（ただし、怪我にはくれぐれもご注意ください）。

またその逆で、背の高さ程度から首の高さ、胸の高さ、腰の高さ、膝の高さとだんだんと輪ゴム紐の高さを下げてどの低さまで潜れるのかチャレンジも盛り上がります。

巧緻性を鍛えたり身体能力を鍛えたり...小学校受験対策で出てくるアイテムは使い方次第。

オリジナルの遊びを親子で考えるのも楽しいですよ。

Chapter 4

毛糸を使った遊びと工作



100均などで季節問わず販売されている毛糸。

あやとりのような伝承遊びから工作はもちろん、編み物等子どもでも楽しく遊ぶことができる万能アイテムの1つです。

10 あやとり

小学校受験を目指すご家庭の場合、学校説明会等の公開イベントや入試で複数回志望校へ伺う機会があります。

学校という場ですから、子どもも静かに待つことが求められます。

そんな時に役立つのがあやとりです。

あやとりには一人あやとり、二人あやとり等ありますからあらかじめ練習しておくといいですね。

あやとりの技は書籍等で学ぶ事が可能です。

また指先を鍛える遊びですから、お子様の巧緻性アップにも一役買ってくれること間違いなしです。



[あやとり大全集](#)

11 段ボールに毛糸を巻き付けて手作りオーナメント



段ボールを好きな形にくりぬき、周辺に切り込みをしれてぐるぐる巻いていけば.....あっという間に手作りオーナメントの出来上がり。

段ボールの形や毛糸の色を一工夫することで、季節感を演出するのもお勧めです。

出来上がったものはインテリアとして飾りましょう。

お子様のやる気をぐんとアップさせてくれますよ。

集中力、感性、芸術性を育てる遊びとしてぜひ取り入れてみてください。

12 真ん中をくりぬいた紙皿に巻き付けて手作りリース



段ボールを切るのは少々大変という場合は、紙皿の真ん中をカッターでくり抜く、もしくはカッターで切れ目を入れてお子様がハサミで切り取るなどして、ドーナツ状の輪にします。

輪にちぎった折り紙や毛糸でクルクル〜と巻きつければベースは完成です。

その後は巻きつけた毛糸の上にスパンコール、松ぼっくり、どんぐり等を思いのままにデコレーションしていきましょう。

どんぐりをデコレーションするなら秋のものについて話し合いながら、柊の葉をつけるならクリスマスや冬のものについての話など、小学校受験で必須領域である季節のお勉強も兼ねられます。

13 髪の毛をチョキチョキして紙コップ美容院



紙コップを1つ、不揃いに切った毛糸（お好みの量）、サインペン、ドットシール、ハサミを用意します。

まず、紙コップを逆さまにし、サインペンで側面に顔を描きましょう。

次に底の部分に穴を開け、事前に不揃いに切っておいた毛糸を内側から通して外に出していきます。

キャラクターの髪の毛ができたならハサミを手に持ち、いよいよ美容院のオープンです。

好きな長さに切りそろえて可愛く整えてあげましょう。
年中さん以降は三つ編みにチャレンジしてみてもいいですね。

輪ゴムで髪の毛を止めるのが難しい場合は、モールでねじって止める方法もありますが、いずれも慣れないと難しい作業です。

最初のうちはママやパパがお手伝いしてあげるといいですね。

年少さんなら毛糸を切る。

年中さん以降であれば毛糸を切る、穴に毛糸を通す。

年長さんであれば、一人で全てできる工作了。

この作品は、作っておしまいではなくその後も遊べるのがポイントです。

Chapter 5

積み木やブロックを使った遊び



積み木やブロック遊びは空間認識力を育てると言われています。

積み木はカラフルなもの、立方体、直方体、三角形、球など色々な形が入っているもでも問題ありませんが、小学校受験を視野に入れるなら立方体だけの積み木も用意しておくと便利です。

小学校受験では、立方体だけで作られた形を見て数を数える問題等よく使われるアイテムです。

日常的に親しんでおく事で、すんなりとプリント学習に移行できるようになります。

▼おすすめの立方体積み木▼

[図形キューブつみき](#)（上の画像にあるものです）

14 ひたすら重ねる

シンプルにひたすら上に重ねていく遊びです。

一人で何個乗せられるかと記録に挑戦してもいいですが、二人以上で積み重ねて倒した方が負けというルールも白熱します。

崩したら負けという緊張感の中で集中する力は小学校受験対策においても大きな武器になり得ます。

15 ごっこ遊びに活用する

積み木を「何か」に見立てて遊ぶごっこ遊びも想像力と感性を育む楽しい遊びです。

例えば私と娘。

立方体積み木を上下に2個重ねて人に見立て、立方体積み木を10個重ねたものをビルと想定し、おままごとをよくしていました。

立方体積み木という限定的なアイテムでも、娘にはこんなふうに見えるのか！ と、子どもの視点と思考を垣間見ることができてとても楽しかったです。

おままごとやごっこ遊びはそれ専用のリアルなおもちゃがたくさんあります。

ですが、時にはあえて不便な環境を作ることによってこれまでとは違った世界が見えることもあります。

その変化を親子で楽しんでみてはいかがでしょうか？

Chapter 6

紙コップを使った遊び



小学校受験ではよく紙コップが登場します。

そのシーンは制作だったり行動観察だったり様々ですが、日常的に触れておく事でいざという時にスムーズに作業に取り掛かれるようになります。

また小学校受験をしない場合でも、紙コップを使った立体的な工作はお子様の想像力や空間認識力、思考力を広げてくれるアイテムなので使えるようになっておいて損はないです。

16 紙コップ積み

紙コップを積むというシンプルな遊びです。

小学校受験の行動観察でもよく出される課題で、4人程度で1グループを作り、どのグループが制限時間内で一番高く積むことができるか、紙コップで好きな形を作ってください、紙コップでロボットを作りましょうなどさまざまな方向から出題されます。

家庭で遊ぶなら、先述したどこまで高く積めるかな？
一番高く積む方法を考えよう、またお手本を同じ形を作ってみよう、などシンプルに積むという遊びは盛り上がります。

年中さん以降の場合は、カラーの紙コップを使って系列（赤・青・緑・赤・○・緑で、○に入る色を当てる）や指示行動（口頭で「赤、青、緑の順で紙コップをピラミッド上に積んだ時、一番上にくる色を見つけてみよう」等の指示を出す）の練習にもなります。

17 紙コップジェンガ

家族で大盛り上がりのスリル満点な紙コップジェンガ。
必要なアイテムは紙コップと画用紙の2種類だけ。

紙コップを並べた上に画用紙を置くことを3回程度繰り返して高さを出したら、順番に紙コップを1つずつ取っていきます。紙コップを取った時に崩してしまった人が負けというゲームです。

集中力、空間認識力を楽しく高めることができます。

Chapter 7

いつでもどこでもできる、言葉遊び



言葉遊びの魅力は道具が不要で移動中などのながらでできることです。

これから親子で簡単にできる言葉遊びを一気に10個紹介していきます。

18 手遊び歌

赤ちゃんから年長さんまで、いつでも楽しく遊べる手遊び歌。

手遊びが体の成長に与える効果を知っていますか？
その効果は絶大なんです。

具体的には...

- ・脳の発達にいい
- ・手先が器用になる
- ・反射神経やリズム感が身に付く
- ・スキンシップを通じて心が安定する
- ・想像力が養われる

とされています。

また、手は外部の脳とも言われるように脳の大部分を刺激する器官の1つです。

手遊びでは左右の手をバランスよく使うため、親子で楽しみながら脳の発達を促すことができます。

そして手遊び歌にはたくさんの種類があります。

私たち両親世代が子どもの頃に親しんだものから最近の流行り物まで、YouTubeで検索すると色々出てきます。

何かを教え込ませようとせずに子どもと楽しく遊んでみましょう。

19 しりとり

3歳ごろから楽しめるしりとり。

しりとりではそれまで知らなかったさまざまな言葉と出会うことができるのが最大の魅力です。

また、しりとりを通して新しく学んだ言葉を言葉遊びの中で使っていくことで、その言葉を使いこなせるようになり、語彙が増える効果も期待されます。

子どもがしりとりになれてきたら「食べ物だけ」「好きなものだけ」などとルールを加えて難易度を調整してみましょう。

20 同頭語集め

同頭語集めは、お題として決めた一文字が頭文字になる言葉を集めるゲームです。

例えばお題が「あ」なら「アイス」「あり」「あご」などという風に、どんどん言葉を集めてみましょう。

多く集めた方が勝ち、順番に言葉を書いていき言えなくなった人からゲームオーバーなどその時に応じてルールも自在に変えてもいいですね。

「相手と同じ言葉を書いてはいけない」というルールを作っておけば、家族はもちろん、先生や一緒に遊ぶお友達の話をちゃんと聞く練習にもなります。

21 同尾語集め

同尾語集めは、お題として決めた一文字が最後の文字になる言葉を集めるゲームです。

例えばお題が「り」なら「あさり」「ひまわり」「とり」などの言葉を集めていきます。

同頭語に比べて難易度が上がります。

最初から競争するより「一緒に何個探せるか挑戦してみよう」というところから始め、「面白い」「もっとやりたい」と思えるような工夫をするといいですね。

同頭語、同尾語ともに小学校受験のワークにもよく出される問題です。遊びを通して親しんでおくことによってワークに対しての抵抗感も下げることができます。

22 季節クイズ

大人にとっては当たり前の季節も子どもにとっては理解が難しいものです。

季節は小学校受験でも必須領域ですが、ペーパー学習に取り掛かる前に普段から季節を意識した生活するのが理想的。

しかし幼児に理解できるように意識しながら季節の行事や草花について知識を得るのは簡単なことではありません。

そこで取り入れたいのがクイズです。

出題例はこちら。

- ・○の果物を3つ言ってみよう
- ・○の行事を3つ言ってみよう
- ・○（行事や草花）の季節はいつかな？
- ・○、○、○の3つの中で仲間はずれはどれかな？

クイズのネタは『きせつの図鑑』などに豊富に掲載されています。
親子遊びの最中に図鑑で調べた後に取り組むと定着も早いです。

▼おすすめの書籍▼

[きせつの図鑑 \(小学館の子ども図鑑 プレNEO\)](#)

[春・夏・秋・冬 あたまのいい子を育てる四季のドリル 1日5分 きせつ
をまなべるほん](#)

23 童謡クイズ

小学校受験の世界は日本に伝統的に伝わる文化について出題されることも多いです。

童謡に関する問題が取り上げられることは少ないですが、童謡は季節に関連付けられているものも多いので、季節の学習にも役立ちます。

一例をご紹介します。

【春の歌】

春よ来い
春の小川
どこかで春が
ちょうちょう
さくらさくら
うれしいひなまつり
こいのぼり
かたつむり

【夏の歌】

茶摘み
海
夏の思い出
われは海の子
たなばたさま
ほたるこい
かもめの水兵さん
花火
ふじの山
夏は来ぬ
あめふり

【秋の歌】

ちいさい秋みつけた
まっかな秋
七つのこ
夕焼け小焼け

もみじ
里の秋
まつぼっくり
虫のこえ
どんぐりころころ
村祭
月

【冬の歌】
たき火
雪（ゆきやこんこ）
おおさむこさむ
ジングルベル
北風小僧の寒太郎
豆まき
冬の歌
雪とこども
雪のこぼうず
雪のおどり
お正月
凧の歌

全てを覚える必要はありませんが、無理のない範囲で少しずつレパートリーを増やしてみてはいかがでしょうか。

24 復唱

国立小の場合、口頭試問（テスターからの質問に志願者が答える面接のようなもの）で復唱が出ることがあります。

内容は先生が今から言うことを繰り返してください。

先生「さしすせそ」
志願者「さしすせそ」

というとても単純なものです。

しかし、集中して話を聞いていないと、緊張感溢れる中で咄嗟に何を言われたのかわからず答えられない...なんてことにもなりません。

そこで親子タイムでも時折復唱を取り入れてみましょう。

例に出した「さしすせそ」でなくても構いません。

早口言葉や季節の花や行事を繰り返すのも面白いですし、復唱を続けることで集中力や聞く力が自然と育まれていきます。

また、復唱にさらにゲーム性を持たせるなら「伝言ゲーム」がお勧めです。

▼おすすめのワーク▼

[きくきくドリル](#)

25 何でできてるかなクイズ

お料理や旬、常識に関する知識が身に付くクイズです。

にんじん、じゃがいも、玉ねぎ、鶏肉、牛乳...これで作れるお料理は何？

(答：クリームシチュー)

という具合に材料を伝えてお料理名を当ててもらいます。

その延長線上で、土の上でできる野菜、土の中でできる野菜など絡めると、さらに小学校受験に必要な知識を得るのに役立ちます。

また季節に絡めて、

ご飯、卵、海老、さやえんどう、海苔、お酢...これで作れるお料理は何？

(答：ちらし寿司)

なんて出題も可能です。

ご家庭流のアレンジを加えて楽しく生活知識をつけていきましょう。

26 理科的常識クイズ



水に浮くもの沈むもの、影が伸びる方向、風の向き、鏡の中で自分がどう映るか、生き物に関する事など、小学校3年生から始まる理科の基礎的なものが出題されるのが小学校受験です。

とはいえ、週末の公園通いや動物園、水族館へのお出かけを定期的にしておくことで多くのことがカバーできますのでご安心ください。

クイズもお出かけから帰ってきた頃に「今日は1日楽しかったね！ところで...」とさりげなく切り出す程度で大丈夫です。

クイズのネタになりそうな一例をピックアップしておきます。

- ・水に浮く野菜、沈む野菜

- ・ 海に住む魚と川に住む魚
- ・ 卵で生まれる生き物、赤ちゃんで生まれる生き物
- ・ 冬眠する生き物
- ・ 親子関係（蛙の子はおたまじゃくし等）
- ・ 動物の数え方
- ・ 生き物の尻尾はどんな形か

27 昔話クイズ

小学校受験では必ずと言っていいほど必要な昔話。

実際に慶應義塾横浜初等部では以下の内容で出題された過去があります。

問題：次のお話はどの昔話のものでしょう。そのお話だと思う絵を探して、言われた色のクーピーで○をつけましょう。

①「タヌキは、おばあさんを棒でたたいて逃げて行ってしまいました。それを聞いたウサギはタヌキをこらしめてやろうと思いました」このお話は何のお話か考えて、そのお話の絵に青で○をつけましょう。

②「裏の畑でイヌのポチがワンワン吠えています。おじいさんが行ってみると、まるで、ここを掘って、と言うようにポチが畑を一生懸命、足で引っ掻いています」このお話の絵に黒で○をつけましょう。

③「兵隊たちが姫を守ろうとしましたが、刀も弓矢も何の役にもたたず、お姫様はお迎えの輿に乗せられて、月へと帰っていきました」このお話の絵に赤で○をつけましょう。

昔話の知識は日頃の読み聞かせで十分ですが、時々慶應義塾横浜初等部の問題を参考にクイズ形式で知識を整理・確認しておくとうれしいです。

28 お話の記憶

ペーパーテストがある学校のほとんどの学校で出題される「お話の記憶」。

長い学校では5分程度の話を聞いてそれに関する問題を回答するという、得意不得意が分かれる領域です。

得意な子に備わっている力は3つあります。
それが下の3つ。

- ・ 集中力
- ・ 想像力
- ・ 記憶力

お話の記憶は専用の問題集も販売されていますが、毎日の読み聞かせの後にクイズ形式で質問してみるところから始めていきましょう。

最初はお子様がすぐに答えられそうな簡単なもので大丈夫です。

まずは最後までお話が聞けたこと、1つでも問題に答えられること。

この成功体験の積み重ねが後に小学校受験する際に効いてきます。

余談ですが、実際の試験では以下の点に注意してお話が聞き取れるように導いていきます。

- ・ 登場人物は？（国立小は動物の場合が多い）
- ・ 登場人物は何をしていたか？
- ・ 出てきたものの数
- ・ 物事の順序
- ・ お話の季節
- ・ 帽子や、洋服、持ち物の色や柄
- ・ 登場人物の感情と表情
- ・ お話の中にでてきた日の天気

Chapter 8

洗濯バサミを使った遊び



最後にご紹介するのが、2歳頃から楽しめる洗濯バサミを使った遊びです。

洗濯バサミの特徴である指で掴む、挟むといった一連の流れは、指先を正しく使う必要があり、手先の器用さ訓練にもってこい。

そこで今回はすぐにできる2つの遊びをご紹介します。

29 型紙に付けて、これなーに？

紙皿に動物や人の顔を描き、その周りに洗濯バサミをパチパチと好きなように挟んでいきましょう。

ライオン？髪が逆立った男の人？おさげの女の人？親子で想像しながら色々なキャラクターを作ってみましょう。

お子様の大人の想像を超えた発想力や想像力に出会う瞬間はいつでもたまらない気持ちになるものです。

また、型紙を無料ダウンロードできるサイトもありますので、ぜひ色々検索してみてください。

30 洗濯物干しごっこ

国立小学校受験で求められる力の1つに自立があります。

お手伝いはその第一歩。

2歳頃のなんでもやってみたいという気持ちを満たすためにも洗濯物干しごっこをしてみましょう。

方法は簡単です。

自宅の壁に1本の紐（素材は問いません）を張ります。

そこに洗濯済みのタオルハンカチなどを着けていきましょう。

お子様がお母さん、お父さんになりきって、張り切る姿はとても可愛いはずです。

もし本物を干すのが難しい場合は画用紙等で○などの記号を切ったものを貼るのでもOKです。

全てを干し終えたあとは「ありがとう」の一言をお忘れなく。

このようなごっこ遊びを通してお子様の心も育てていきましょう。

●さいごに

小学校受験というと、ひらがなやカタカナが書けないといけない、九九を全て言えないといけないなどとまだまだ誤解されがちな世界です。

しかし実際のところは決してそんなことはありません。

書く力よりも大切なのは聞く力
先取り学習よりも大切なのは日本の伝統文化を知る力
四季折々の美しさを体感して感性を磨く力
昔話や童謡を通じて感受性を豊かにする力

いずれも日本人としての素地を作るとても大切な力です。

そしてそれらは問題集などを通じて知識として得るのではなく、親子で1日1日を積み重ねていくものです。

そのために【遊び】は欠かせません。

子どもは【遊び】を通してたくさんのことを【学び】ます。
そして遊びを能動的に楽しめば楽しむほど学びの吸収力も増していきます。

今回のレポートではお子様が楽しく、ご両親にとってはなるべく無理なくできる遊びを30個ピックアップしました。

そのうちの1つでもお役に立てていただければ発信者としてこれ以上の喜びはありません。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。
あなたからの感想待ってます。

あや拝